

2024年12月11日

各位

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長 CEO 清明 祐子
(コード番号 8698 東証プライム)

当社連結子会社 Coincheck Group N.V.の NASDAQ 上場のお知らせ

当社連結子会社 Coincheck Group N.V. (旧名称：Coincheck Group B.V. (*1)、本社：オランダ王国アムステルダム。以下「CCG」といいます。)による米国の Nasdaq Global Market (以下「NASDAQ」といいます。) 上場 (以下「本上場」といいます。) のための手続き (*2) が完了し、CCG 株式は、2024 年 12 月 11 日 (米国東部時間) よりティッカーシンボル「CNCK」として NASDAQ で取引が開始されることになりましたので、お知らせします。CCG の詳細、その他関連する事項については以下をご覧ください。

CCG は、NASDAQ 上場企業としての信頼性と成長の加速を背景に、グローバルな人材採用、企業買収、資本業務提携などの戦略的な取り組みを推進し、暗号資産及び web3 分野における事業拡大に積極的に取り組んでまいります。次世代の金融・テクノロジーの可能性を最大限に引き出し、透明で包摂的な新しい経済の基盤を築くことで、より良い社会の実現を目指します。

本上場により、当社は CCG 株式の約 8 割 (109 百万株) を保有することになります (時価総額約 16 億米ドル (*3) に対し、当社持分約 13 億米ドル)。今後も CCG 及びコインチェック株式会社を戦略上の重要な子会社に位置付け、当社グループの継続的かつ中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

(*1) 本上場に伴い、オランダ法上の私的有限責任会社 (B.V.) から公的有限責任会社 (N.V.) への組織変更が行われたことにより、名称が変更されております。

(*2) 詳細については、以下の当社プレスリリースをご覧ください。

- 2022 年 3 月 22 日付「当社連結子会社 Coincheck Group B.V.の Thunder Bridge Capital Partners IV, Inc.との De-SPAC による ナスダック上場に関するお知らせ」
https://www.monexgroup.jp/jp/news_release/irnews/auto_20220309503074/pdfFile.pdf
- 2024 年 5 月 8 日付「当社連結子会社 Coincheck Group B.V.の Thunder Bridge Capital Partners IV, Inc.との De-SPAC によるナスダック上場の登録申請書類公表等に関するお知らせ」
https://www.monexgroup.jp/jp/news_release/irnews/auto_20240507583429/pdfFile.pdf

(*3) 2024 年 12 月 10 日の NASDAQ 引け時の Thunder Bridge Capital Partners IV, Inc.株価 (1 株あたり 12.24 米ドル) で計算。

1. CCG の概要

名称	Coincheck Group N.V.
所在地	オランダ王国アムステルダム
代表者	Executive Chairman 松本 大
事業内容	暗号資産/web3 事業のさらなる拡大を目指す企業群の持株会社
ティッカーシンボル	CNCK
取引開始日	2024 年 12 月 11 日 (米国東部時間)
当社保有株式比率	約 80%
関係会社	コインチェック株式会社 (100%)

2. 当社連結業績への影響

本上場に伴い、本上場に関連するフィナンシャルアドバイザー、引受証券会社等各種専門家への報酬その他の費用が最大で約 59 億円（1 米ドルを 150 円で換算、税金及び税効果考慮前、以下同じ。）、加えてキャッシュ・アウトを伴わない費用として本上場にあたり CCG が合併によりその地位を引き継いだ Thunder Bridge Capital Partners IV, Inc.（以下「THCP」といいます。）の既存株主に対し発行した株式について国際財務報告基準(IFRS)に基づく株式報酬費用として約 94 億円(同上)の合計約 153 億円の一時的費用を 2025 年 3 月期第 3 四半期に計上する予定です。当該株式報酬費用と同額だけ連結財政状態計算書（貸借対照表）上の資本の中で勘定振替が生じ、現預金が減少するものではなく、連結上の資本も毀損しません。上記の費用は集計中であり、換算レート等により今後変更の可能性があります。今後開示すべき事項が判明しましたら速やかに開示いたします。

なお、当社単体業績（損益及び株式資本含むが、これらに限らない。）に与える影響はなく、期末配当方針についても変更ありません。2024 年 10 月 28 日に公表させて頂いた通り（*4）、期末配当は、通常配当 15.1 円及び特別配当 10.0 円の合計 25.1 円を予定しています。

(*4) 詳細については、2024 年 10 月 28 日付当社プレスリリース「2025 年 3 月期の配当に関するお知らせ（中間配当及び特別配当の実施と期末配当予想の公表）」をご覧ください。

https://www.monexgroup.jp/jp/news_release/irnews/auto_20241028503690/pdfFile.pdf

3. 2025 年 3 月期第 3 四半期以降の決算発表日程に関するお知らせ

今後は NASDAQ 上場会社である CCG の連結財務諸表を統合した連結財務諸表を作成することから、決算短信等の決算発表の日程が従来よりも遅くなる見込みです。2025 年 3 月期第 3 四半期決算短信の開示及び決算発表は 2025 年 2 月 12 日を予定しています。

以 上

Coincheck Group N.V. について

CCG の子会社であるコインチェックは、複数の暗号資産取引に対応した日本で最大級の暗号資産販売所と暗号資産取引所を運営しており、日本の金融庁の監督を受けています。コインチェックは、日本の暗号資産業界のリーダーとして、ビットコインとイーサリウムを含む多様な暗号資産が保有され、取引される販売所及び交換所プラットフォームを運営し、その他の個人消費者向け暗号資産サービスも提供しています。コインチェックは、暗号資産のみならず、非代替性トークン（NFT）のような革新的なデジタル製品やソリューションへの日本のユーザーのアクセスを増加させ、新しい技術から生じる恩恵を日本のユーザーが享受することを可能にすることを目指しています。CCG は、世界で 4 番目の経済圏における、暗号資産及びその他の新技術の採用拡大から恩恵を受ける最適な立場にあります。

将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、1995 年私証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）における「将来の見通しに関する記述」が含まれます。将来の見通しに関する記述には、CCG と THCP との統合（以下「本合併」といいます。）、将来の事業、製品及びサービスに関する将来の財務及び事業の業績、計画、目標、見通し及び意図、並びに「可能性が高い」、「予測される」、「継続する」、「予期される」、「見積もられる」、「信じる」、「計画する」、「展望」、「見通し」等の表現、その他の類似表現若しくはこれらの表現の否定形により特定される記述が含まれますが、これらに限られません。将来の予想、期待、信念、計画、予測、目標、仮定、又は将来の出来事や業績に関する議論を含み、又は表現するいかなる記述も、歴史的事実の記述ではなく、将来の見通しに関する記述である可能性があります。将来の見通しに関する記述は、当該記述がなされた時点での、期待、見積もり又は予測に基づいており、現在予想されている結果や出来事と実際の結果や出来事が大きく異なる可能性のあるリスクと不確実性を含んでいます。このリスク及び不確実性には、(i)本合併の期待利益の実現の遅延又は不達成、(ii)本合併により経営陣の事業経営が中断されることに関するリスク、(iii)競争環境、技術革新又は規制の変化を含む、コインチェックが競争を行う暗号資産及びデジタル・アセット市場の変化、(iv)国内外の経済状況全般の変化、(v)コインチェックが成長戦略（買収の特定及び実施を含みます。）を実施できないリスク、(vi)コインチェックが効果的な内部統制を構築維持できないリスク、及び(vii)CCG が米国証券取引等監視委員会に提出した書類に記載されたその他のリスク及び不確実性が含まれます。CCG は、法令上要求される場合を除き、新情報、将来の発展その他の理由により、将来の見通しに関する記述を公に更新し又は見直す義務を負いません。

（報道関係者様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-3983

（株主様・投資家様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR 担当 仲野、小森 電話 03-4323-8698